

通訳案内士試験道場 中国語で学ぶ日本⑥中部解答

佐渡島

- 1 佐渡島といえばトキの保護区を思い出す。
- 2 絶滅危惧種の（絶滅に瀕した）鳥類
- 3 潮が引いた後の砂浜にはハマグリ、アサリ、シジミなどの貝類が打ち上げられる。
- 4 定期船乗り場の待合室はキャンプ道具を担いだり、釣りざお、重り、びくなどの釣具を提げたりする人があちこちに見られてこの上なく賑やかだ。
- 5 都落ちした多くの貴族が流刑者として、ここに島流しにあった。
- 6 これら昔の人々が心血を注いで（心を砕いて）磨き上げた舞台芸能
- 7 ワイドスクリーン/シネスコープで放映できる映画館
- 8 能楽のような奥深い伝統芸能は他の地方では人気がない/流行らない。
- 9 こんな小さな島で、このように多くの郷土芸能の舞台があるというのはまずないことだ。
- 10 義理人情をテーマとした人形芝居に対する島民の入れ込みよう（こだわり/思い入れ）もかなりのものだ。
- 11 この辺鄙な小島の田舎芝居などぱっとしないなどと思う/悔るなかれ。彼らの芸は堂に入っていて、リアルで/真に迫っているので観客も多い（評判が高い）。
- 12 ファンたちがこれら一座の芸/妙技を高く評価するだけでなく、本場の文楽/人形浄瑠璃のベテランたちも太鼓判を押すのだ/のお墨付きだ/折り紙つきだ。
- 13 彼らは演ずるときぴったり息を合わせ、舞台は真に迫っている。
- 14 ゴールドラッシュという佐渡金山がその筆頭に挙がる/まず挙がるのが佐渡金山だ。
- 15 クレーンもないなか、坑夫たちは採掘と同時に坑内に染み出てきた水を絶えずくまな（すくわな）ければならなかった。
- 16 人地生疏 不案内な
- 17 一方通行の道が交差する狭い町は迷路のようだ。
- 18 人々はみなお互い微笑みながらあいさつを交わしてすれ違う。
- 19 油然而生 なんとなくわき起こる
- 20 が、まさにこの不便さのおかげで、古き良き日本の面影/原風景を保ちえたのだ。
- 21 富が集まれば集まるほどプレッシャー/ストレスを受けてしまう今の時代、本当の豊かさに対する感覚がどんどん鈍くなりつつある。

金沢

- 1 伝統に縛られ/とらわれ、融通が利かぬ
- 2 移風易俗 伝統がすたれる

- 3 このような素朴な町の風景と真心のこもったおもてなしに、かえって魅力を感じるのだ
- 4 様々な冬支度に取り掛かろうとしていた。
- 5 天気予報によると、当日は曇り時々雨だったが、思いがけず寒冷前線（寒波）がきて、金沢に着くと雪がちらついていた。
- 6 これでも大雪の方だ。
- 7 ごくありふれたことだ/日常茶飯事だ。
- 8 山珍海味 山海の珍味/海の幸、山の幸
- 9 マツタケや山芋など、お膳の上の料理と酒の肴が一品一品丁寧に作られ、盛り付けられている。おいしいだけでなく目を楽しませてくれる。
- 10 刺身を食べられない私のような者のために、特別に配慮し（特別サービス/はからいで）焼き魚を出してくれた。
- 11 温文尔雅 物腰が洗練された
- 12 私たちの願いは、遠路はるばる（遠いところ）金沢にお越しいただいたお客様に、我が家にいるかのようにくつろいでいただくことなのです。
- 13 夜にうたた寝したら風邪をひいてしまったのか、続けて何度もくしゃみをしてしまった。
- 14 渡り鳥も飛んできた。まもなく金沢は雪化粧した長い長い冬を迎えようとしているようだ。

富士登山（初日）

- 1 知らぬ人のいないほど有名な富士山は、その優雅で秀麗な/美しい姿が称賛される。
- 2 山は扇子を逆さにしたような形である。
- 3 頻繁に/しばしばカメラマンたちの被写体にされる。
- 4 富士山に登らぬ馬鹿と二度登る馬鹿。
- 5 孤掌難鳴 一人では何もできない。
- 6 一人では何もできない
- 7 連れ立っていく友人を探して/誘って登った。
- 8 クロスカントリーとトライアスロン
- 9 ポロシャツに着替えてハイソックスとトレッキングシューズ/登山靴をはいた。
- 10 花や木を大切にすること、頭が痛いときでも痛み止め等を飲んではいけないこと、といった注意事項
- 11 曇り所により雨で、ふもとは通り雨（にわか雨）でも山頂はひょうが降った。
- 12 万里无云 雲ひとつない青空
- 13 絶好の登山日和だ。
- 14 細い登山道は登山客で混み合っていて、二列であがることはできないほどだ。

- 15 そこからは青々とした山脈のパノラマが見渡せ、足元には雲がふわふわ浮かんでいて、まるで雲に乗っているかのようだった。
- 16 休むことなく
- 17 七弯八拐 曲がりくねった
- 18 空が夕焼けで真っ赤に染まる頃
- 19 山小屋
- 20 美其名曰 ~といえは聞こえがいいが
- 21 ここには二段ベッドさえなく、夜は床に寝るしかない。
- 22 私は家の敷布団と羽毛布団が恋しくなりだした。
- 23 私は顔を洗うため水を汲もうとしたが、どこにも蛇口が見あたらない。ここには水道がおっいてなく、また水をくむポンプもなかったのだ。
- 24 羊頭狗肉・看板に偽りあり
- 25 供不應求 供給が需要に追い付かない
- 26 スルメをつまみにビールを飲んだ。

富士登山 高山病編

- 1 日上三竿 朝が遅い
- 2 なので体内時計も狂ってしまい、頭がクラクラした。
- 3 寝ぼけ眼をこすりながら外に出ると、日はまだ昇っておらず、星が空にきらきら瞬いている。
- 4 寒くてぶるぶる震えるほどで、顔色も真っ青で両手もかじかむ。
- 5 トレーナーだけでは高山の寒さを抑えがたく、ポーっとしていた私の頭も一気にシャキッとした。
- 6 荷物を点検したら、パーカーを羽織って出発した。
- 7 歩いているうちにも眠気は度々襲ってきた。このままいけばへとへとになって/精魂尽き果て、人に助けてもらわねばなくなるかもしれない。
- 8 しかしやめるわけにはいかない。世界に冠たる/名だたる富士山の山頂が我々を待っているのだ。
- 9 前功尽弃 これまでの苦労が水の泡だ。
- 10 ほぼ一年中雪が降る。
- 11 郵便料金不足が心配で 100 円切手を貼った
- 12 ちなみに
- 13 顺手牽羊 ついでに持ち帰る/くすねる
- 14 空はうっすら明るくなって
- 15 私は登山に比べると下山は楽勝だと早合点して（たかをくくって/甘くみて）いた。
- 16 相変わらず顔色がよくて元気で、健脚このうえない。さすがに山登りのベテランだ

けある。

17 ぜいぜい言い [息を切らせ] ながら、急いで追いついた

18 人間に水は欠かせない

19 これからは飲む水さえない。

20 友人は私を励ましてくれたが、自分がここで足手まといになるのは申し訳ないので、友人に先に行ってもらった。

21 力不从心 氣ばかりあせり体がついていかない

22 しかし「後悔先に立たず」。私はとにかく気合を入れて下り続けるしかなかった。

23 虎頭蛇尾 竜頭蛇尾、最初の勢いはどこへやら

24 幸いなことに八合目で水の補給ができたが、500ml のペットボトルの水が五百円もした。

25 高山病

26 気を失いそうだった。

27 憎まれっ子世にはばかる/佳人薄命

28 命あってのものだね・死んで花実が咲くものか

29 症状が重いので、応急手当をしてもらうしかない。

30 救護所/医療センター

31 点滴を受けて酸素吸入をすると、やっと体力も回復し、友人も肩の荷がおりた（胸をなでおろした/ほっとした）。

32 私は臨時の交番に紛失届を出した。

33 日本では 拾われたお金もねこばばしないで、拾ったものは交番に届け出る人が多いので、持ち主に戻る可能性も高いのだ

34 のど元過ぎれば熱さ忘れる

高山の裏と表

① 飛騨は山国なので米や特産物は納税できるほど取れない。

② 積もった雪で屋根が押しつぶされないように雪が滑って落ちやすくするために、屋根の勾配を急にしたのだ。

③ これらの匠の技の集大成が高山祭の屋台（山車）である。

④ ユネスコ無形文化遺産

⑤ 屋台/山車のことを考えるだけでうずうずする高山の人

⑥ 高山の魂の結晶たるこれらの動く芸術品

⑦ 江戸時代の風情がよく残っている造り酒屋（酒蔵）が軒を連ねていて、圧倒させられる。しかしこの懐かしい雰囲気の中にも知られざる一面があるのだ。

⑧ もし返済できないようならば土地を抵当（かた）に取られ、元は自作農だった者も小作農になってしまった。

- ⑨ たくさんの農民が涙を押し殺して自分の土地を譲り渡した。
- ⑩ 百姓たちの気をそらすために
- ⑪ 熱狂的な祭りは百姓たちの考えをうまく麻痺させた。
- ⑫ ものものしい玄関の片側は奉行所になっており、奉行が上に、とらえられた者はお白州の上で正座をさせられる。
- ⑬ 自白を強要する生々しい刑具が目の前に現れる。
- ⑭ この陣屋で代官と豪商が結託して/ぐるになって高山を統治していたことは、高山にとって良かったのか悪かったのか。
- ⑮ 飢饉のとき
- ⑯ 彼の功績をたたえる
- ⑰ 一貫して質素儉約を旨としていたためこの町は
- ⑱ 圧政と搾取の下、
- ⑲ 写真写りの良い文化遺産
- ⑳ 清廉潔白な渡辺華山の善政
- ㉑ 人生万事塞翁が馬
- ㉒ 表には必ず裏がある。

中国語で学ぶ日本⑥中部 単語表現帳 氏名

1 トキ/2 絶滅危惧種の鳥類/3 潮が引く	
3 ハマグリ/アサリ/シジミ	
4 定期船乗り場/待合室/キャンプ用具	
4 釣竿/びく/釣具	
5 都落ちした貴族が流刑者としてここに島流しにあう	
6 心血を注ぐ（成語）/7 ワイドスクリーン	
8 流行らない/9 郷土芸能の舞台	
10 人形芝居に対するこだわり（入れ込みよう）	
11 この辺鄙な小島の田舎芝居などパッとしない	
11 堂に入る/真に迫る（成語）/観客が多い	
12 ファンたちはこれら一座の芸を高く評価する	
12 太鼓判をおす/13 息を合わせる	
13 真に迫る（成語）/14 ゴールドラッシュ	
14 金山/15 クレーン/16 不案内な（成語）	
17 一方通行/18 すれ違う/19 沸き起こる（成語）	
20 古きよき日本の面影/21 プレッシャー	
1 伝統に縛られる/融通が利かない（各成語）	
2 伝統が廃れる（成語）/3 地味な/心のこもったもてなし	
5 曇り時々雨/寒冷前線/雪がちらつく	

6 これでも大雪の方だ/ 7 ごくありふれたことに過ぎない	
8 山海の珍味（成語）/8 松茸/山芋	
9 お膳/酒の肴/盛り付ける/10 食べ慣れない	
10 特別サービスで/11 洗練された物腰（成語）	
12 我が家にいるようにくつろいでもらう（成語）	
12 遠路はるばる（成語）/13 うたた寝する/	
14 渡り鳥/間もなく/雪化粧する（成語）/	
1 知らぬ者のない（成語）3 カメラマン/ 5/6 一人では何もできない（成語二つ）	
8 クロスカントリー/トライアスロン/9 ポロシャツ	
10 花や木を大切に/解熱剤/11 曇ところにより雨	
11 にわか雨/雹（ひょう）/12 雲一つない青空	
13 絶好の登山日和/14 並んで登る/15 パノラマ	
15 雲がふわふわ浮かぶ/16 休むことなく（成語）	
17 曲がりくねった（成語）/19 山小屋	
20 ～と言えば聞こえはいいが（成語）	
21 二段ベッド/22 羽毛布団/23 蛇口/水道/ポンプ	
24 看板に偽りあり（成語）/62 需要が供給に追いつかぬ	
26 スルメをつまみにビールを飲む	
1 朝が遅い（成語）/2 体内時計/頭がくらくらする	
3 寝ぼけ眼をこする/4 寒くて震える/顔色が青い	

4 手がかじかむ/5 ボーっとしていた頭もシャキっとする	
6 荷物点検する/パーカーを羽織る	
7 歩いているうちにも眠気は度々襲ってきた	
7 このままいけば/へとへとになる (各成語)	
8 やめるわけにはいかぬ/世界に冠たる (各成語)	
9 苦労が水の泡 (成語) /10 一年中	
11 郵便料金不足/12 ちなみに/13 ついでに持って帰る (成語)	
14 空はうっすら明るくなる/15 早合点する	
16 顔色が良い/健脚この上ない (各成語)	
16 さすがに山登りのベテランだけある/17 息を切らす	
18 人に水は欠かせない/20 励ましてくれる	
20 足手まとい (成語) /申し訳ない/21 気ばかり焦る (成語)	
22 後悔先に立たず (成語) /気合を入れる/	
23 竜頭蛇尾 (成語) /24 500ml/ペットボトル/	
25 高山病/26 気を失う/27 憎まれっ子世にはばかる	
28 命あってのものだね/29 症状/応急手当	
31 点滴を受ける/酸素吸入をする	
32 胸をなでおろす/100 交番/紛失届	
33 拾った金もネコババしない/持ち主に戻る (各成語)	
34 のど元すぎれば熱さ忘れる (成語)	

1 納税/2 屋根の勾配を急にする/3 匠の技の集大成	
4 ユネスコ無形文化遺産/ 5 山車のことを考えるだけでうずうずする	
6 高山の魂の結晶たるこれらの動く芸術品	
7 江戸時代の風情がよく残っている造り酒屋	
7 圧倒させられる/知られざる一面/	
8 返済できないようなら土地を抵当にとられる	
9 小作農/10 涙をこらえる（成語）/11 熱狂的な祭り	
12 奉行所/奉行/お白州の上で正座させられる	
13 自白を強要する/14 陣屋/代官と豪商が結託する	
15 飢饉のとき/16 彼の功績をたたえる/17 質素儉約 （成語）	
18 搾取/19 写真写りの良い文化遺産/20 清廉潔白な 善政	
21 人生万事塞翁が馬（成語）/22 表には必ず裏がある	